

各位



2019年9月18日
フォースタートアップス株式会社

「STARTUP DB」調査結果 国内スタートアップ資金調達金額ランキング 2019年1月から8月で、もっとも資金を集めたのはフロムスクラッチ

成長産業支援事業を推進するフォースタートアップス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：志水雄一郎 以下、フォースタートアップス）は、国内外の成長市場および成長企業の動向を継続的に調査・分析し、当社サービスである「STARTUP DB（スタートアップデータベース）」に定期的に調査結果を公開しています。今回は、2019年1月から8月までを対象とした「国内スタートアップ資金調達額ランキング（2019年1月～8月）」を発表いたします。

もっとも資金を集めたのは、フロムスクラッチ

国内スタートアップ 資金調達金額ランキング（2019年1～8月）

順位	社名	事業内容	資金調達金額 (億円)
1	フロムスクラッチ	マーケティングプラットフォーム「b→dash」の開発	100.0
2	ティアフォー	「Autoware」を活用した自動運転システムの開発	90.2
3	Synspective	小型SAR衛星「StriX」の開発	86.7
4	MUJIN	産業用ロボットコントローラの開発	75.0
5	Spiber	人工合成クモ糸「クモノス(QMONOS)」の開発	65.0
6	SmarTHR	クラウド人事労務ソフト「SmarTHR」の開発	61.5
7	ピクシーダストテクノロジーズ	視聴触覚技術の社会実装	48.5
8	五常・アンド・カンパニー	貧困層向け小口融資のマイクロファイナンス事業	38.0
9	QDレーザ	網膜走査型レーザアイウェア「RETISSA® Display」の開発	36.6
10	アクティブソナー	ラグジュアリーブランド委託販売&買取サービス「RECLO」の開発	36.0
11	ミラティブ	スマホの画面を共有できるライブ配信アプリ「Mirrativ」の開発	35.0
12	ディーカレット	仮想通貨取引アプリ「DeCurret」の開発	34.0
13	アストロスケールホールディングス	スペースデブリの除去技術の開発	33.0
14	スマートニュース	スマートデバイスに特化したニュースアプリ「SmartNews」の開発	31.0
15	ヤプリ	クラウド型アプリ開発プラットフォーム「Yappli」の開発	30.5
16	B4F	会員制オンラインブティック「MILLEPORTE」の開発	30.0
17	GROOVE X	新世代家庭用ロボット「LOVOT」の開発	30.0
18	OLTA	請求書買取(ファクタリング)サービス「OLTA」の開発	25.0
19	エプリー	レシピ動画メディア「DELISH KITCHEN」の開発	25.0
20	モダリス(旧:エディジーン)	ゲノム編集技術による新しい遺伝子治療薬の開発	24.7

注1:2019年8月31日時点
注2:一部融資や社債での資金調達を含む
注3:関連会社からの資金調達は除く

データ出元: STARTUP DB

STARTUP DB

2019年1月から8月までの期間でもっとも資金を集めたのは、100億円を調達したマーケティングプラットフォーム「b→dash」の開発をおこなうフロムスクラッチです。次いで「Autoware」を活用した自動運転システムの開発をしているティアフォーの90億円、小型SAR衛星「StriX」の開発を行うSynspectiveが87億円と続きます。

トピックス1：ディープテック系、SaaS系のスタートアップが多い

トップ20位のうち、宇宙ロケット、ロボット、自動車などのディープテック系のスタートアップが6社ランクイン。ディープテック系のスタートアップで大きな資金調達をしたのは、以下の企業です。

- ・ティアフォー
- ・Synspective
- ・MUJIN
- ・Spiber
- ・アストロスケールホールディングス
- ・GROOVE X

他には、フロムスクラッチやSmartHR、ヤプリーなどのSaaS系の企業が上位にランクインしています。中でも2019年7月に発表されたSmartHRの61.5億円を調達したニュースは話題を呼びました。アメリカで上場しているSaaS企業は現在50社以上あり、それらの売上継続率の中央値は120%を超えます。SlackやZoomのような伸び盛りの企業にもなると、売上継続率が140%～180%。SmartHRの売上継続率は現在130%近くあり、アメリカで伸びているSaaS企業と比べても見劣りしない成長率を誇ります。

トピックス2：海外企業からの投資が目立つ

今回のランキングに入っている企業だけを見ますとSaaS系企業に関して海外企業が投資している傾向にあります。

– フロムスクラッチ

引受先海外企業：KKR

– SmartHR

引受先海外企業：Light Street Capital、ほか1社

ここで注目したいのはフロムスクラッチとSmartHRの引受先です。フロムスクラッチの引受先となったKKRは、初の日本国内スタートアップへの投資であり、KKRがリード投資家として40億円を出資しています。さらに、SmartHRに出資したLight Street CapitalはSlackやShopify、Uberといった世界規模の企業に投資しています。もう1社海外企業から調達しているが、社名は公開されていません。

STARTUP DBでは今後も継続的に、国内スタートアップ資金調達の推移を追っていきます。

当社は、今後もSTARTUP DBを通じて、スタートアップ・エコシステムの活性化を行い、国内成長産業の発展に貢献してまいります。

【調査概要】

タイトル：「国内スタートアップ資金調達ランキング」

調査期間：2019年1月から8月まで

レポート記事：STARTUP DB (<https://media.startup-db.com/research/funding-ranking-201908>)

※当社が取得した登記簿謄本に記載している情報を元に参考値として算出しておりますが、当社は、本情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではなく、本情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切責任を負いません。

STARTUP DB (スタートアップデータベース) について <https://startup-db.com/>

国内最大級の成長産業領域に特化した情報プラットフォームです。企業データベースは、10,000社を越える日本のベンチャー・スタートアップ企業の情報を保有するとともに、起業家・投資家、エコシステムビルダーの方々累計100名以上のインタビューコンテンツをリリースしています。2019年6月24日より、英語版リリース。また、世界最大級のベンチャー企業データベース「Crunchbase」とデータ連携し、日本企業の情報を海外のプロフェッショナルに届けることで、国内の成長産業領域市場の発展に貢献しています。

フォースタートアップス株式会社について <https://forstartups.com/>

フォースタートアップス株式会社は、2016年9月、株式会社ネットジンザイバンクとして創業。「世界で勝負できる産業、企業、サービス、人を創出し、日本の成長を支えていくこと」をミッションとして掲げ、「for Startups」というビジョンのもと、インターネット/IoTセクターをはじめ、Fintech、リアルビジネス領域も含めた成長産業領域特化型の転職支援と起業支援を中心に事業を推進。近年では、国内有力ベンチャーキャピタルと連携したスタートアップ・ベンチャー企業への戦略的資金支援や、成長産業領域に特化した情報プラットフォーム「STARTUP DB (スタートアップデータベース)」を展開。さらに、エコシステムビルディングの取り組みとして日本最大級のスタートアップイベント『SLUSH TOKYO』を企画・協賛しています。今後もビジョンとともに、日本の成長・発展に貢献してまいります。

本件に関する取材等のお問い合わせ

フォースタートアップス株式会社 PR担当：石橋・友行

[TEL：(代表) 03-6893-0650 / FAX：03-6893-0651 / MAIL：pr@forstartups.com]